

生き生きした街づくり

いきいき

子安地域住民協議会広報紙

発行

子安地域住民協議会広報部

(公財) 八王子市学園都市文化ふれあい財団

八王子市子安市民センター

八王子市子安町2-6-1

電話 042 (646) 1220

二期目を迎えて(時代の変遷)

子安地域住民協議会

会長 奥野 総一



今日の世界の流れが複雑です。不透明の中、日本の現状を挙げてみました。二〇二五年、総人口一億二三〇〇万人(二〇〇八年一億二八〇〇万人)。生産人口七四五〇万人(二〇一九年に比べ二〇〇万人減少)一人当たりのGDP世界三八位(一九八八年世界二位)。国家予算、一般会計百十五兆円。特別会計四三〇兆円。社会保障給付金(医療・年金・福祉・その他)一三八兆円(公費負担五五兆円)。数字を並べました。世界秩序が変わりましたが、日本の限界を払いのける力を信じたいと思います。

さて、先の総会で令和七年度の役員の改選があり、会長職を再び拝命いたしました。引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

今年度も昨年同様に、十月の市民センターまつり、自主事業で年二回の将棋大会を推し進めたいと考えております。また、今期各部門の機能充実を図る為、部門編成

ぶらり散歩

興林寺は子安町で最古のお寺です。建立は一五四三年、室町時代です。この年に鉄砲が伝来したそうです。

興林寺には二つの歴史の遺物があります。

一、「公安の板碑」

公安の板碑は一二八三年に建立された供養塔です。鎌倉時代でこの年は二回目の元寇があったそうです。

八王子では二番目に古く八王子市指定有形民俗文化財になっております。

刻まれた梵字とともにその造形は美しいです。



二、「上杉謙信の石燈籠」

上杉謙信の石燈籠は北条征伐後八王子の代官になった大久保長安が赴任地の信濃から八王子に持って自身の館に置いていたそうです。

長安没後に大久保長安事件の為放置してあったが江戸時代後期に再発見され、興林寺に置くことになったそうです。

「新編武蔵風土記稿」という江戸時代後期の地誌にも記述がありました。

周辺の小学校では毎年見学に訪れるそうです。



【編集後記】広報部より

▼子安神社は天平宝字三年七五九年淳仁天皇の皇后御安産の為に創建され、神体は木花咲耶姫命で聖徳太子作です。(井上)

▼人に歴史ありと言いますが、取材を進めていくと建物や場所もその時々の人々の思う所により形を変えていくのがよくわかり、そこそが時代の流れというもののだなと感じます。(西島)

▼いずみの森の名称で、ふと思い出したので、思いのままに書かせていただきました。(溝口) ※今回、頁の都合で改めて

▼打ち合わせも原稿も初めてさせていただきました。意見も快く受け入れていただき大変励みになりました。(常盤)

▼広報部の皆さんと毎号、読者の為にと一致協力。ぜひお楽しみ下さい。(田島)

トピックス

【市民センターの草刈りを実施】二頁

【子安町歴史探訪―桑都の杜】三頁

【ぶらり散歩 ― 興林寺】四頁

【編集後記】四頁

を行いました。そして、運営方法を見直して、各部門の推進活動を明確にし、事業を推進して参りたいと考えております。過去には、様々な講座や多種多様な事業を推進して参りました。しかし、コロナ禍を境に事業の継続が途絶え(福祉部の園芸活動を除き)各部門推進イベント事業が実施されておられません。また推進委員の高齢化もあります。時代の変遷により、子安地域住民協議会の在り方が変化してきております。住民協議会委員の不足を補っていくことが、今後の運営活動に欠かせません。若い世代の力を熱望しております。

そして、市民センターでは昨年十月より業務の効率化を図る為、予約システムが変更になりました。当初、利用者も予約に戸惑いがありましたが、利用者様のご理解・ご協力をいただきましたおかげでセンター業務システムが軌道に乗り始めました。感謝いたします。

地域の皆様の一層のご支援を賜りますよう、ご協力を切にお願い申し上げます。

子安町歴史探訪 第二話

「桑都の杜と八王子医療刑務所」

八王子の新しい目玉として二〇二六年（令和八年）十月にオープン予定の「桑都の杜」ですが、公園やライブラリ、歴史・郷土ミュージアムなど、八王子の歴史と文化を伝える施設として整備が進められています。

ここは皆さんご存じの通り、元々は八王子医療刑務所があった場所です。

それまでこの場所は百年以上に渡り刑務所でした。

一八七八年（明治十一年）九月に神奈川県監獄八王子監獄所として開庁、一八九三年（明治二六年）には三多摩が神奈川県から東京府となり、それに伴い警視庁監獄八王子支署となりましたが、同年八月の八王子町大火により八王子支署は全焼してしまいます。

この約二年後に再建されますが、この時に現在の場所に建てられました。

総会開催

五月十七日（土）、午後七時より子安市民センターにて子安地域住民協議会を開催。

子安市民センターの業務員を紹介。この度、業務員の大半が入れ替わりとなりました。

6月22日(日)市民センター周辺の草刈りを実施

年二回実施している恒例の除草作業を子安地域住民協議会の役員で行いました。

夏に向け、地域の方、市民センターをご利用になる皆様が快適に過ごしていただく為、猛暑の中、汗を流しました。



八王子での役目を終えます。

百年以上の長きに渡り、この場所で東日本の治安維持の一端を担ってきた八王子医療刑務所。その跡地は八王子の歴史と文化を継承する施設へと生まれ変わります。

一九二六年（大正十五年）十八歳未満で心神耗弱の男子受刑者と刑事被告人、労役の施設となりますが、一九二七年（昭和二年）の全国刑務所作業製品品評会で、八王子支署の少年たちが作った紙風船が好評を博したというエピソードがあります。

一九四五年（昭和二十年）には八王子空襲で拘留所が全焼しますが、本所は何とか消火に成功し全焼は免れました。

一九五一年（昭和二十六年）に八王子医療刑務所となり、その二年前に特別少年院が併設されましたが、それが廃止されます。

一九六六年（昭和四十一年）に八王子医療刑務所病院として認可を受け、八王子医療刑務所看護護人養成所を開設します。

一九七九年（昭和五十四年）に女子の疾患受刑者の収容を開始、それらの体制を維持して平成の世を過ごします。

そして二〇一八年（平成三十年）東日本成人矯正医療センターに改称、昭島市に移転し、



昭和30年代の八王子医療刑務所の正門